第 21 講　中世イギリス・フランス史と百年戦争
1フランス史（カペー朝）

カロリング朝西フランク王国が断絶すると，(1)〔　　〕年にパリ伯 (2)〔　　〕が (3)〔　　〕河畔のパリにカペー朝を開いた。

【フィリップ２世】(4)〔　　〕世は，(5)〔　　〕の影響を受けた異端 (6)〔　　〕にたいする (7)〔　　〕により南部へ領土を拡大，またイングランド王 (8)〔　　〕からは (9)〔　　〕を奪ったが教皇 (10)〔　　〕には屈服した。さらには第 (11)〔　　〕回十字軍に参加した。(12)〔　　〕の豪商 (13)〔　　〕は聖書の翻訳を行って後の (14)〔　　〕のいとこによる翻訳の先駆となった。しかしワルドー派は教皇 (15)〔　　〕により禁止された。

【ルイ９世】聖王ルイ９世は (16)〔　　〕を完遂，モンゴルの (17)〔　　〕に (18)〔　　〕を派遣した。また第 (19)〔　　〕回十字軍を送ったが自身は (20)〔　　〕で病死した。

【フィリップ４世】フィリップ４世は (21)〔　　〕年貴族・聖職者・都市の代表などの封建的特権を確認する全国 (22)〔　　〕をパリのノートルダム寺院で開いた。有力者を味方に付けたうえで，教皇領への課税問題で対立していた教皇 (23)〔　　〕世を (24)〔　　〕年にローマ近郊の (25)〔　　〕に幽閉し憤死させ，(26)〔　　〕年には (27)〔　　〕川に面した南仏 (28)〔　　〕に教皇庁を移し新教皇 (29)〔　　〕世を擁立（ようりつ）した（教皇のバビロン捕囚）。教皇庁を身近に置くと，(30)〔　　〕の宣告が容易だからだ。カペー朝の拡大と異端の宣告は不可分の関係だ。

解答

（１）987　（２）ユーグ＝カペー　（３）セーヌ　（４）フィリップ２　（５）マニ教
（６）カタリ派　（７）アルビジョワ十字軍　（８）ジョン　（９）ノルマンディー地方
（10）インノケンティウス３世　（11）３　（12）リヨン　（13）ワルドー
（14）カルヴァン　（15）インノケンティウス３世　（16）アルビジョワ十字軍
（17）カラコルム　（18）ウィリアム＝ルブルック　（19）６・７　（20）チュニス
（21）1302　（22）三部会　（23）ボニファティウス８　（24）1303　（25）アナーニ
（26）1309　（27）ローヌ　（28）アヴィニョン　（29）クレメンス５　（30）異端

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【百年戦争】

(31)〔　　〕の産地 (32)〔　　〕（中心都市は (33)〔　　〕川に面した (34)〔　　〕）と (35)〔　　〕加工の先進地域 (36)〔　　〕をめぐり約 300 年間英仏は争ったが，(37)〔　　〕朝（フィリップ６世）が断絶したカペー朝を継承したことに不満をもったプランタジネット朝（(38)〔　　〕家）の (39)〔　　〕世が戦争を挑み，第１次英仏百年戦争となった。

クレシーの戦（1346）ではエドワード３世の子 (40)〔　　〕の**長弓兵**の活躍でイギリスが勝利した。(41)〔　　〕年ペストがヨーロッパに蔓延（まんえん）し休戦。再開後の (42)〔　　〕の戦（1356）でもフランスは敗れ (43)〔　　〕年には (44)〔　　〕という農民反乱も起き，貴族は分裂しフランスは崩壊寸前だったが，(45)〔　　〕世をサポートした天才少女 (46)〔　　〕が要衝 (47)〔　　〕を奪還し（(48)〔　　〕年）盛り返した。

ヴァロワ家は親英だったブルゴーニュ家と和解し勢力を増し，(49)〔　　〕年 (50)〔　　〕だけ残しイングランドの勢力を大陸から駆逐（くちく）した。

解答

（31）ぶどう　（32）ギュイエンヌ　（33）ガロンヌ　（34）ボルドー　（35）毛織物
（36）フランドル　（37）ヴァロワ　（38）アンジュー　（39）エドワード３
（40）エドワード黒太子　（41）1348　（42）ポワティエ　（43）1358
（44）ジャックリーの乱　（45）シャルル７　（46）ジャンヌ＝ダルク　（47）オルレアン
（48）1429　（49）1453　（50）カレー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　中世イギリス・フランス史と百年戦争
2 イギリス史（ケルト人～プランタジネット朝）

グレート＝ブリテン島の先住民は (1)〔　　〕系 (2)〔　　〕人だ。前 1 世紀に共和政期のローマの将軍 (3)〔　　〕はガリア（現フランス）で支配者**ヴェルチン＝ジェトリクス**を撃ち破り，現イングランドにも侵入した。帝政ローマ五賢帝の (4)〔　　〕は島の北部に長城を築いた。

次に西ゲルマン人の (5)〔　　〕族がユトランド半島方面から入ってきた。それに対する抵抗の物語が『(6)〔　　〕』だ。アングロ＝サクソン (7)〔　　〕（ヘプターキー）は (8)〔　　〕年にウェセック王 (9)〔　　〕のもとに**デーン人の侵入を共通の敵として統一**した。本陣は海岸線から等距離に位置する (10)〔　　〕川に面した (11)〔　　〕だ。

ノルマン人のデーン人の侵入を撃退したのが 898 年のエディントンの戦いに勝利した (12)〔　　〕。しかし，(13)〔　　〕年に (14)〔　　〕人の王 (15)〔　　〕がイングランドを征服，デーン朝を開きデンマーク・ノルウェーとともにイングランドを支配した。死後アングロ＝サクソンの支配が復活した。

【ノルマン朝】それを (16)〔　　〕の子孫 (17)〔　　〕が (18)〔　　〕年の (19)〔　　〕の戦いで破り (20)〔　　〕から (21)〔　　〕で戴冠された。これを (22)〔　　〕という。ソールズベリーの誓いとは領主が国王に忠誠を誓ったことで集権的封建制（ほうけん）というイングランド固有の封建性がスタートした。検地帳のことを (23)〔　　〕という。

【普遍論争】カンタベリ大司教で (24)〔　　〕（神や普遍という概念は事物に先行して存在する）をとなえたのが (25)〔　　〕。一方，(26)〔　　〕（実在するものは個々の事物だけで神とか普遍とかは抽象（名）にすぎない）をパリ大学教授の (27)〔　　〕はとなえた。これを (28)〔　　〕という。(29)〔　　〕世紀に**『神学大全』**を著した (30)〔　　〕が**アリストテレス主義を導入**して論争は一応決着。14 世紀にはいると (31)〔　　〕が唯名論，つづく (32)〔　　〕も唯名論の立場をとり信仰と理性を区別した。

解答

（1）ケルト　（2）ブリトン　（3）カエサル　（4）ハドリアヌス
（5）アングロ＝サクソン　（6）アーサー王物語（おうものがたり）　（7）7 王国　（8）829
（9）エグバート　（10）テムズ　（11）ロンドン　（12）アルフレッド大王
（13）1016　（14）デーン　（15）クヌート　（16）ロロ
（17）ノルマンディー公ウィリアム　（18）1066　（19）ヘースティングズ
（20）カンタベリ大司教　（21）ウエストミンスター寺院　（22）ノルマン＝コンクェスト
（23）ドゥームズディ＝ブック　（24）実在論　（25）アンセルムス　（26）唯名論（ゆいめいろん）
（27）アベラール　（28）普遍論争（ふへんろんそう）　（29）13　（30）トマス＝アクィナス
（31）ドゥンス＝スコトゥス　（32）ウィリアム＝オブ＝オッカム

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(33)〔　　〕は神学による学問の体系化を試み，イスラームの影響で経験を重視し近代科学の方法論への道を開いた。

12 世紀に中世の文化が大きく発展したことを (34)〔　　〕という。農業生産力の向上・十字軍の遠征と商業の復活・イスラーム世界からの学問の流入（イベリア半島の (35)〔　　〕・シチリア島の (36)〔　　〕経由）などが背景にある。

【プランタジネット朝】ノルマン朝の断絶でアンジュー伯アンリが (37)〔　　〕世になって始まったのがプランタジネット朝だ。ヘンリ２世の子 (38)〔　　〕世（獅子心王（しししんおう））は第 (39)〔　　〕回十字軍に参加し孤軍奮闘（こぐんふんとう），しかしフィリップ２世と戦い戦死する。

【ジョン】その弟 (40)〔　　〕（欠地王）は大陸領土ノルマンディーを失い，カンタベリ大司教任免（だいしきょうにんめん）問題で教皇 (41)〔　　〕から破門された。(42)〔　　〕年には王は貴族の一般評議会によらないでは課税をしないとの (43)〔　　〕（(44)〔　　〕）に署名させられた。ここでジョンは課税権・逮捕拘禁（たいほこうきん）権行使に関して法的根拠や議会の承認が必要であることを宣言した。これがイギリス自由権だ。「国王といえども神の法の下にある」というブラクトンの言葉に見られる精神，法による支配というイギリスの不文憲法 constitution（国柄・体質）の芽が出たのがこの時期だ。

【ヘンリ３世】実はブラクトンはジョンの長子の (45)〔　　〕世がマグナ＝カルタを無視したのでこの言葉を述べた。(46)〔　　〕年，反乱派貴族が招集され州と都市の代表も招かれた。これが下院の起源だ。これが (47)〔　　〕の議会だが，反乱は失敗しモンフォールは戦死した。

【エドワード１世】次の (48)〔　　〕世はウェールズを征服し息子に贈った。以後，イギリス皇太子をプリンス＝オブ＝ウェールズと呼ぶようになった。パリのトンネルで自動車事故死したダイアナ妃はプリンセス＝オブ＝ウェールズ＝ダイアナだった（1997 年死去）。

スコットランド遠征に際し国王の諮問機関として身分制議会が開かれた。(49)〔　　〕年の (50)〔　　〕だ。このように王権のチェック機能としての議会の基盤が 13 世紀に出来上がった。

【エドワード３世】エドワード３世がフランス（ヴァロワ家）の間に百年戦争を開始した。1341 年には貴族院と庶民院（しょみん）が分離し二院制が成立，国王と庶民院の結びつきが深まる。1378 年に (51)〔　　〕大学の (52)〔　　〕は聖書をラテン語 (53)〔　　〕から英語に翻訳し，またローマ教会からの独立を主張して宗教改革の先駆者となったが，それが実現するのは後のヘンリ８世の時代になってからだ。

解答

(33) ロジャー＝ベーコン　(34) 12 世紀ルネサンス　(35) トレド　(36) パレルモ
(37) ヘンリ２　(38) リチャード１　(39) ３　(40) ジョン
(41) インノケンティウス３世　(42) 1215　(43) 大憲章（だいけんしょう）　(44) マグナ＝カルタ
(45) ヘンリ３　(46) 1265　(47) シモン＝ド＝モンフォール　(48) エドワード１
(49) 1295　(50) 模範議会　(51) オックスフォード　(52) ウィクリフ
(53) ウルガタ訳

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第21講　テスト

1　初めて三部会が開かれたのは何世紀か。

① 12
② 13
③ 14
④ 15

2　農民の地位向上と貨幣経済の進展による「領主制の危機」に対して，困窮した領主層が賦役の復活など封建的な諸権利を再強化したことを何と呼ぶか。

① 封建反動
② 臣従礼
③ 恩貸地制度
④ 従士制

3　1429年にジャンヌ＝ダルクが奪還した街は。

① リヨン
② ボルドー
③ カレー
④ オルレアン

4　13世紀後半からイギリスで普及した戦闘部隊は。

① 長弓兵
② 鉄騎隊
③ 常備軍
④ 常勝軍

5　中世末期から近代初期のイギリスで，騎士や富裕な平民が地主化した階層は。

① ジェントリ
② ヨーマン
③ ディガーズ
④ ブルジョワジー

第21講　テスト解答

1 ③　　2 ①　　3 ④　　4 ①　　5 ①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。